

各位

2013年7月10日

KNT-CTホールディングス株式会社
総務部(広報) 担当:立花
TEL:03-6891-6839

旅行取扱状況の概観(平成25年5月分)

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事、KNTアジア、の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比84.6%、学生団体は同96.9%と前年を下回った結果、団体旅行合計で同86.0%と前年を下回った。企画旅行については、東アジア方面をはじめとして不振であり、前年比87.3%であった。個人旅行については、前年比80.1%であった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比85.4%と前年を下回る結果となった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比91.5%、学生団体は同103.8%となり、団体旅行合計で前年比100.6%とほぼ前年と同水準であった。企画旅行については前年を上回り102.2%、個人旅行についてはほぼ同水準の98.9%であった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比101.2%と前年を上回る結果であった。

外国人旅行は、前年比99.5%とほぼ前年と同水準であった。

以上の結果、ホールディングス主要会社の5月の総取扱額は、前年比96.2%であった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は昨年多くの見本市・大会関連の大型団体を多く取り扱った反動もあり前年比85.1%、学生団体は同96.9%であった。海外団体旅行合計で同86.4%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は前年比91.5%、学生団体は同103.8%となり、国内団体旅行合計で同100.6%とほぼ前年と同水準であった。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱人数で前年比98.5%、取扱額で前年比100.5%とほぼ前年どおりであった。方面別取扱人数の状況では、中部、伊勢志摩方面などが前年を大きく上回ったほか、東北、関東、首都圏、中国四国方面などが好調である。

ホリデイは、東南アジア方面は好調であったものの、販売割合が高い東アジア方面を中心として全般的に不調であり、取扱人数、取扱額とも前年を下回った。特に中国方面については引き続き大きく低迷している。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、チャータークルーズが好調であったものの、アジア・中国の回復傾向が見えない状況であり、部門全体では前年を若干下回る結果であった。

バス旅行を除く国内旅行部門は前年比107.8%と好調を維持している。特に中部、北陸、九州方面などが好調であった。

バス旅行部門は、東北地方や伊勢・志摩地方は好調であったものの、ゴールデンウィーク後半が伸び悩み、前年を下回った。

テーマ旅行部門は国内ひとり旅などが好調であり、前年比109.9%と伸長した。

以上